



ご挨拶

今年は、極端な大雨や竜巻による災害、伊豆大島の土砂災害、そしてフィリピンの台風直撃被害等々、地球温暖化に起因する異常気象にみまわれました。日本経済は、アベノミクスによる株高と景気浮揚を期待する流れになってきましたが、政治の面では、秘密保護法案の行方に目が離せません。

校友の皆様は、この一年いかがお過ごしでしたか？大河ドラマ「八重の桜」を、しっかりみられたことと思います。思い返しますと、*八重さんは、逆境にひるまず自分の考えを貫いて、女性の自立と弱い人々へ尽くされた類まれな女性であったこと、*山本覚馬によって、「同志社」が名付けられたこと。：西郷隆盛によって「薩摩藩邸」の地を託され、そこに母校が建てられたこと。*新島襄はじめ幾多の人材が、度重なる困難を乗り越えて、今日の「同志社」があること等々。このドラマのお蔭で、「温故知新」、すなわち、「同志社建学の精神」を温め、「同志社200年～の発展」を目指して、微力を捧げなければとの思いを新たにしました。

末筆になりましたが、来る年が校友の皆様にとって平穏で、希望に満ちた年になりますようお祈り申し上げます。
群馬県支部 支部長 中山捷介

25年度支部総会・合同懇親会

10月6日（日）、「マリエール高崎」で平成25年群馬県支部総会が開催されました。議事終了後、新島学園短期大学準教授山下智子氏による講演（演題：「新島八重ものがたり」）がありました。八重さんは困難な時、「わたしらしく生きる」ことを探求しました。世間の無理解や誤解にさらされる時も、神が良き友をして支えてくださることを励みとした八重さんの生き方について、熱く語りかける場面では、出席者一同感動を覚えました。

同窓会との合同懇親会は、大谷総長、加賀女子大学長、田中校友・父母課長、北村女子大学広報課長、中村校友会副会長、阿部同窓会会長はじめ、近隣の校友会支部代表者、そして新島学園大平理事長様、狩野学長様、岩間校長様のご来賓と校友会、同窓会のOB、OGと含め、総勢63名となりました。

大矢総長の祝辞で、「同志社の今後の発展に向けた方向性」を伺った後、高崎教会牧師の生地善人氏のご祈禱を賜り、続いて、中村副会長から、定評ある流暢な英語での乾杯の音頭で宴会に入りました。9つのテーブルでの和やかな会話から、しばらくしてテーブル間を移動する語らいの場となり、めいめいが楽しく旧交を温めていました。途中、「新会員・初参加者の自己紹介」や「お土産抽選会」があり、瞬く間に懇親会の時は過ぎていきました。お開きでは、校友、鳥山渉氏のご発声により、全員でカレッジソングと同志社チアで締めくくりました。



マンドリン演奏会

9月8日（日）、高崎文化センターで同志社マンドリンクラブの演奏会が開かれました。1910年創部され100年以上の歴史を持つわが国でも有数のマンドリン演奏団体が、より多くの方々にマンドリン音楽の素晴らしさを感じてもらうために、京都を離れて全国各地で毎年開催しています。今年は、新島襄ゆかりの地で、是非演奏会をやりたいという、マンドリンクラブの熱意に、群馬校友会が応えようとお思いで、支援委員会を立ち上げました。暑い夏の日でしたが、校友の有志が足を棒にしてチケット販売、広告や寄付の御願いをしました。

お蔭様で、当日の演奏会は、ほぼ満員の大盛況となりました。過去最高の入場者数であったということで、後日、学生から御礼の手紙までもらいました。

演奏会のはじめと終わりに奏でられた「ONE PURPOSE」の調べには、胸に染み入り、思わず涙腺が緩みました。お帰りになる方々が、「高い演奏技術と学生らしい演奏態度に親しみを覚えた」、「同志社のマンドリンが、こんなに素晴らしいとは!」「また、来て欲しい」と、口々に話しておられたことが、今でも思い出されてきます。

こうした演奏会を開くことにより、同志社のプレゼンスが、群馬の地にいっそう高まったと思います。

新島研究会

今年3年目の新島研究会は明治・大正時代、社会に影響を及ぼした同志社山脈に連なる人々や団体を取り上げ、その生涯や思想を検証しました。日本社会主義の先駆者であり、「日本野球の父」と呼ばれ、「早稲田大学の野球部創設者」阿部磯雄。金森通倫、横井時雄、海老名弾正、徳富蘇峰ら青年達を生んだ熊本バンド。

遠藤周作の「わたしが・棄てた・女」のモデルとされた深井八重。新島襄を蔭で支え、廃娼運動等で多大な功績を遺した湯浅次郎。

安中教会牧師で非戦、時代批判を行った柏木義円。新島襄を助け、大学設立に奔走した山本覚馬。

来年も引き続きこの路線で我々の偉大な先輩や大学運営上の出来事を検証して行きます。



同志社校友会ゴルフコンペ

親睦ゴルフを10月21日（日）、長野県の「立科ゴルフ倶楽部」で行いました。支部有志（川野、飯降、真下、中谷、鳥本、中山）が集い、紅葉の始まった唐松林を見ながら、楽しい時をすごしました。優勝は、飯降氏（昭44文卒）でした。



ゴルフコンペ

工場見学

平成25年度関西3大学交流会として、6月8日（土）サンデン株式会社赤城事業所「サンデンフォレスト」を見学しました。校友同社勤務の小林善紀氏の案内で、文字通り、「森の中の工場」で、自然環境と企業活動の共存を目指す20万坪を巡る4kmの遊歩道を歩きました。同志社10名、関西学院6名、立命館4名の参加者はツツジ、シュンラン、やまぼうしの花を楽しみながら、森林浴をした後、社員保養施設で、昼食をしながら懇親を図りました。



サンデンフォレスト見学

秋のハイキング 浅間隠山 (1756m)

平成25年11月3日（日）、浅間隠山に登る。参加6名。高崎教会に集合し、車3台に分乗して出発。今回の参加者は中山、鳥本、寺岡、山崎、入江、中山さんの奥さん。8時に出発し、二度上げ峠下の駐車場に9時過ぎに到着する。市川さんが駐車場まで来てくれる。準備体操をして歩き出す。ゆっくりゆっくり歩くのが、山でバテないための鉄則。紅葉は下ほどよく、上に行くほど盛りが過ぎていた。きつい登りを無事通過して、稜線に出る頃には、快調な歩きとなった。2時間ほどで山頂に到着。浅間山はすぐそこにあり、紅葉の山なみを眺めながら昼食をとる。下山途中、西日に照らされたカラマツ林の黄色の葉がたいへん印象的だった。

下山後、倉淵の相間川温泉で汗を流して、無事解散となる。



浅間隠山ハイキング

新島研究会「京都旅行」紀行

今年は、昨年を引き続き、「裏と八重のゆかりの地」の第二弾として京都を選んだ。文科系の部門が全て集積された後の5月27日、28日の一泊二日の旅であった。参加者は、女子大の方を含めて総勢10名。

京都は学生時代の青春の思い出深い場所であり、参加者も心が弾んだ楽しい旅になった。一泊二日の予定だったが、前日から行きたいという方も多く集合場所は、同志社の西門前正午にした。初日は懐かしい校舎を散策した後、比叡山、大文字山が展望できる寒梅館の七階のレストランでお昼を堪能、その後、当時の面影が偲ばれる女子大の「栄光館・礼拝堂」、「新島旧邸」を見学、大河ドラマのヒロインと自分を重ね当時の思いに浸った。夜は二条城近くの風情ある「がんこ寿司」で宴を開き、そのあと、そぞろ歩きで先代の縁の跡を辿りながら思い出のある喫茶店で一休みしてから宿に着いた。

二日目は、早朝、同志社墓地を拝礼し、南禅寺まで歩き、疲れたところで、裏と八重が好んで食べた知恩院南門前の「いもぼう平野家本店」で昼食をした。最後に、明治の貴重な資料がある「霊山歴史館」を後に帰路に着いた。



京都旅行 同志社西門前

平成26年計画案

来年の主な校友会行事です。奮ってご参加下さい。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	記事
春の集い			1										
ゴルフ													
ハイキング													
旅行													
総会・懇親会									14				

同志社校友会大懇親会の開催について(予告)

来る2月15日(土)、国立京都国際会館で、大懇親会が開かれます。

校友会は同志社発展に寄与する目的で、**大学事業支援、学生援助、卒業生の社会人への活動支援を軸に活動をはじめています。**

是非、参加しましょう！仔細の案内は、別途、差し上げます。



総会・懇親会出席のお願い

同志社に学んだ校友が、一堂に会し、旧交を温める場です。是非、総会・懇親会にご参加下さるようお願いしています。
2014年9月14日(日) 予定
(マリエール太田) 予定